

審議会会議録

1 会議の名称	令和2年度第3回富津市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和3年3月12日（金） 午後1時30分～午後3時27分
3 開催場所	富津市役所本庁舎5階 502・503会議室
4 審議等事項	議題 （1）青堀保育園について（報告） （2）公立保育所の再配置について （3）その他
5 出席者名	○出席委員 真下めぐみ、村治直子、菊地洋子、佐久間啓、 岩濱真也、宮原俊一、有馬佐知子、飯田裕美、 平野香織、今井常夫、都倉康宏、古川哲也、 諸岡賛陞、大畑光 ○事務局 坂本健康福祉部長、中山子育て支援課長、澤邊子育 て支援課長補佐、水島子ども家庭係長、荒木主任主 事、山口健康づくり課主査、平野学校教育課指導主 事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人（定員5人）
9 所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

令和2年度第3回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：荒木主任 主事	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます、子育て支援課子ども家庭係の荒木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 富津市公立保育所再配置計画たたき台 ・公立保育所再配置計画たたき台に係るグループ討議の進め方について ・公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙 ・討議グループ分け表 <p>机上配付：次第、委員名簿、席次表、公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙（追加）</p> <p>その他：第1回、第2回富津市子ども・子育て会議資料 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画書</p> <p>○会議の成立</p> <p>ここで、本日の委員の出席状況をご報告いたします。</p> <p>15名の委員のうち、委員名簿3番の安藤委員におかれましては、本日欠席でございます。</p> <p>14名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会</p>

発言者	発言内容
事務局：荒木主任 主事	<p>議を公開することとなっております。なお、本日の傍聴人はありません。</p> <p>会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p><次第1 開会></p> <p>ただいまから、令和2年度第3回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>議事に入る前に、諸岡会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さんこんにちは。</p> <p>平日のお忙しい中、多数の皆さんの参加をいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の議案は、2議案あります。執行部がいろいろと考えてくださいます、公立保育所の再配置については今日から活発な議論に入らせていただきますが、グループ討議ということで新しい形の中で会議を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。</p>
事務局：荒木主任 主事	<p>ありがとうございました。会長には引き続き、議事の進行をお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、次第に沿いまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の会議録署名委員を指名したいと思います。私のほかに、慣例により委員の中からお一人をお願いしており</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>ます。本日は、宮原委員にお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><次第4 議題></p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>「議題（1）青堀保育園について（報告）」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局：中山課長	<p>子育て支援課の中山です。</p> <p>青堀保育園について報告をさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。</p> <p>昨年11月18日に開催いたしました第2回の会議において、青堀保育園の利用定員の変更について協議させていただきました。その説明の中で、法人の方からあと2年を目途としてできれば撤退させていただきたいとの申し出がありました。本日はその後についてのご報告をさせていただきます。</p> <p>なお、資料はございませんので、恐れ入りますがお聞き取りいただきますようお願いいたします。</p> <p>第2回会議の前から、高砂福祉会青堀保育園としての方策を打診してまいりましたが、法人の早期撤退の考えは変わりませんでした。市としては、やはり入園されているお子さんや保護者の皆さんが安心して卒園の日を迎えられることがなによりも大事なことでであると判断いたしまして、この撤退を受け入れることといたしました。</p> <p>現在、高砂福祉会との間で、円滑な返還に向け協議を重ねております。</p> <p>第2回の会議の後、青堀保育園在園児の保護者向けに高砂福祉会主催により説明会が開かれております。</p>

発言者	発言内容
	<p>今後は、高砂福祉会との返還に向けた協議に合わせ、次期事業者選考にかかる検討を進めてまいります。具体的には、令和4年度末までの事業実施を高砂福祉会が表明しておりますので、令和5年度の次期事業者による開設に向け、来年度早い時期に受託法人選考委員会を立ち上げ、事業者を公募する際の条件等、さらには、円滑に引き継ぐために必要な事項を検討してまいり、翌4年度には公募を行いたいと考えております。</p> <p>選考委員会には、青堀保育園の在園児の保護者の方々にも加わっていただき、次期事業者の選考過程から保護者の方の声を反映させてまいります。</p> <p>引き続き、民間の運営による私立保育園による運営が継続できるよう保護者のご理解を得ながら進めてまいります。</p> <p>万が一、公募に対し、法人が決まらないといった事態になった場合でも市が責任をもって保育園として存続させてまいる考えでおります。</p> <p>以上、青堀保育園についての報告とさせていただきます。</p>
諸岡会長	事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑はございませんか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の議題に入らせていただきます。</p> <p>「議題（2）公立保育所の再配置について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料1：「富津市公立保育所再配置計画たたき台」を使用)</p>

発言者	発言内容
<p>事務局： 澤邊課長補佐</p>	<p>子育て支援課の澤邊です。</p> <p>議題の（２）公立保育所の再配置について説明いたします。着座にて失礼させていただきます。</p> <p>お手元の子ども・子育て会議資料１の「富津市公立保育所再配置計画たたき台」をご覧ください。</p> <p>今後の「公立保育所の再配置計画」を作成するにあたり、第１回会議では「公立保育所の現状と課題」について、第２回会議では「公立保育所の適正配置に係る基本方針」について議論をいただきました。</p> <p>先の会議を踏まえ、「富津市公立保育所再配置計画たたき台」を作成いたしましたので、よろしくお願いたします。</p> <p>資料の１ページをご覧ください。</p> <p>１ 公立保育所をめぐる課題の「（１）入所児童数の状況」について、ここでは入所児童が少人数となっている施設では合同保育の実施などによる課題や近年の保育児童の低年齢化等の状況について記載しております。</p> <p>「（２）保育士の確保」についてですが、公立保育所だけの問題ではございませんが、保育士として就労する者の減少や離職などの課題の状況。また、下の表につきましては、少人数の保育所について、保育所を統合した場合を想定した保育士の確保について、保育士必要数から算出した表になります。</p> <p>ここでは、A・B・C各保育所について合計12人の保育士が必要となりますが、集約した場合は7人になり、5人が他の保育所に振り分けや気になる児童への配慮、一時預かりなどの実施が可能となり、更に充実した保育が行えることを想定した表となります。</p> <p>一枚めくっていただき2ページをご覧ください。</p> <p>「（３）保育のニーズの多様化と育児力の低下」について</p>

発言者	発言内容
	<p>ですが、社会情勢の変化などによる行政の子育て支援について記載しております。</p> <p>「（４）施設の状況」については、公立保育所の現状と今後の改修などの課題を記載しております。</p> <p>「（５）運営費の状況」についてですが、公立保育所の運営に係る財源の状況などについて記載しております。</p> <p>３ページの２ 目指すべき基本方向についてですが、「発達に適した集団の確保」、「公立施設の配置の検討」、「量的・多様化する保育ニーズへの対応」に着目し、基本的な方針を記載しております。</p> <p>そのうち、「発達に適した集団の確保」についてですが、未満児の需要の拡大、３歳以上児の対応について、私立保育園や幼稚園などの施設も視野入れた公立保育所の統廃合の必要性を記載しております。</p> <p>次の「公立施設の配置の検討」については、私立保育園や幼稚園の施設の位置などを踏まえた公立保育所の配置の検討や、民間活力の活用による保育サービスの拡充などの検討を記載しております。</p> <p>「量的・多様化する保育ニーズへの対応」については、公立・私立保育園や認定こども園の役割や特色など生かし、市全体で対応できるような方向について記載しております。</p> <p>これまでのところは、第１回会議、第２回会議で議論いただいた部分になります。</p> <p>４ページからは、公立保育所の具体的な配置の案となります。</p> <p>４ページをご覧ください。</p> <p>ここで、大変申し訳ありませんが、資料の訂正をお願いいたします。４ページ下の表左側「未移行幼稚園」の児童数が「84」とありますが「258」に訂正をお願いいたします。その下の</p>

発言者	発言内容
	<p>地区小計「433」を「607」に訂正願います。</p> <p>市内児童のみを記載しておりましたが、保育所・園については、市外からの入所児童も含めておりましたので、こちらも含めたものへ訂正いたします。</p> <p>同様に、右の表の「認定こども園幼稚園」の「104」を「280」に、その下の地区小計の「472」を「648」に訂正をお願いします。同じように、5ページにつきましても、下の表の左側「未移行幼稚園」の「174」を「285」に、その下の地区小計の「397」を「508」に訂正をお願いしたいと思います。併せて、右の表も同様に「未移行幼稚園」の「174」を「285」に、地区小計の「397」を「508」に訂正をお願いします。お手数をおかけいたします。</p> <p>引き続き、説明を続けさせていただきます。</p> <p>ここからは、資料1の最後9ページ、A3の「再配置イメージ」と一緒にご覧ください。</p> <p>4ページの3 具体的な再配置（案）につきましては、市内を3地区に分け、各地区の公立保育所のほか、私立保育園、私立幼稚園、認定こども園の配置状況を踏まえた公立保育所の再配置案になります。</p> <p>各施設、児童数の表につきまして、左側は令和3年2月1日時点の管外児童を含んだ児童数の数値となり、右側は再配置検討後の児童数を記載しております。</p> <p>「① 富津地区」については、市内でも人口の多い地区であり、3歳未満児の需要も多いことから受け皿の確保が必要と考えております。</p> <p>公立保育所は「飯野保育所」になります。</p> <p>「飯野保育所」は、過去の経緯では民間移管の議論は凍結しておりますが、一定規模の入所があることから、民間事業者の参入も見込めるため検討を再開したいと考えておりま</p>

発言者	発言内容
	<p>す。</p> <p>また、3歳未満児の受け皿を確保するために、既存保育園の拡大または連携施設を確保して定員19人程度の小規模保育所の誘致も検討しております。</p> <p>既存未移行幼稚園の新制度認定こども園の移行を促して、2号・3号の受け皿の拡充の検討を行います。</p> <p>5ページ「②大佐和地区」については、就学前児童の受け皿が5施設あり、富津地区からの未満児の受け皿になっている状況もあります。</p> <p>将来人口推計では、児童数の減少が見込まれることから、施設が余剰となることも懸念されます。</p> <p>この地区の公立保育所は、「吉野保育所」、「佐貫保育所」となります。</p> <p>「吉野保育所」については、富津地区の受け皿となっている児童もいることから、富津地区の今後の配置の状況に応じては保育所の必要性が低くなることもありますが、施設的には民間移管を検討いたします。</p> <p>次に、「佐貫保育所」については、入所児童が減少しており、発達に適した集団での保育が困難になってきていることから、3歳以上児を送迎により集約することを検討します。</p> <p>また、未満児については、佐貫地区に小規模保育所を設置して保育を行います。この小規模保育所については、3歳以上児の送迎ステーションも兼ねることから、場所についても既存佐貫保育所を使うか、今後検討が必要と考えます。</p> <p>次の「民間保育園」については、私立保育園等に今後の運営の意向調査を行ったところ、定員増の希望のある園もありますので、拡充を働きかけます。</p> <p>続きまして、6ページ「③天羽地区」につきましては、児童の減少があることから、今後の配置について検討が必要と</p>

発言者	発言内容
	<p>なっております。</p> <p>この地区の公立保育所は「中央保育所」、「竹岡保育所」、「金谷保育所」、「峰上保育所」の4施設のほか、私立の認定こども園が1施設あります。</p> <p>「中央保育所」については、過去に民間移管の検討を凍結しておりますが、民間事業者への移管の検討を行います。</p> <p>「竹岡、金谷保育所」については、児童数も少なく、集団での保育が困難なことから、3歳以上児については移管後の中央保育所での保育を検討します。</p> <p>なお、金谷保育所については、津波、高潮の浸水想定エリアに立地していることから、3歳以上児を竹岡保育所へ早期に集約することの検討も必要であると考えます。</p> <p>また、竹岡、金谷保育所の未満児については、それぞれ小規模保育所を設置し、各地区で保育を行います。</p> <p>保育所の場所については、3歳以上児の送迎ステーションを兼ねる場所であることが必要となりますので、今後検討いたします。</p> <p>「峰上保育所」については、小規模保育所及び送迎ステーションとし、3歳以上児の集約を検討します。</p> <p>7ページ中段をご覧ください。</p> <p>4 取組みの目安につきましては、各地区の保育所の移管、統廃合についてのスケジュールを大まかに記載いたしました。</p> <p>年度については、n年度とし、具体的にはお示ししておりませんが、配置の計画のスケジュールとして示しておりますのでご確認ください。</p> <p>各施設の方向性の検討には少なくとも3年程度を想定しており、施設の改修の必要性等も想定しております。</p> <p>本日お示しした「たたき台」は、将来を見通したとき、想</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>定されるシナリオに対し、今できる最大の備えを議論の材料としてまとめたものです。</p> <p>今後、この子ども・子育て会議での議論を経て、計画という形にしていきたいと思います。</p> <p>また、計画としてまとめた後も実施にあたっては、計画の見直しや、市の状況、児童数の推移状況等々、新たなニーズが見込めるようでしたら改めて地域に公立保育所として再スタートを切ることも柔軟に考えてまいります。</p> <p>たたき台の説明は以上で終わりますが、本日の会議では、富津地区の配置についてご意見を伺いたいと考えておりますので、活発なご議論をお願いしたいと思います。</p> <p>以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>説明に対するご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>ただいま、説明いただいたたたき台について、なにかわからないこと等ありましたらお願いします。</p>
都倉委員	<p>先ほどの訂正箇所の数字を聞き漏らしたので、再度お願いします。富津地区の未移行幼稚園の児童数「84」を訂正でいくつだったでしょうか。</p>
事務局： 澤邊課長補佐	<p>お答えいたします。「84」を「258」に訂正をお願いいたします。そうしますと、地区小計「433」が「607」となります。</p>
都倉委員	<p>ありがとうございます。</p>
諸岡会長	<p>他になにかございませんでしょうか</p>

発言者	発言内容
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	他にないようですので、これよりグループ討議に入りますが、事務局より討議の進め方について説明をお願いします。
事務局：水島係長	<p>子ども家庭係の水島です。着座にて失礼いたします。</p> <p>私の方から、グループ討議の進め方についてお話しをさせていただきます。</p> <p>公立保育所再配置計画の策定にあたり、この子ども・子育て会議での議論を踏まえ、計画を策定していく予定です。</p> <p>活発にご議論いただくために、一つでも多くのご意見を頂戴したいと考えまして、今回の会議からグループに分かれて討議をお願いしたいと思っています。</p> <p>事務局の方で 15 人の委員の皆様を 1 グループ 5 人ずつ、A、B、C の 3 つのグループに分けさせていただきました。</p> <p>先ほどご説明しました「公立保育所再配置計画たたき台」をもとに、本日は富津地区について、次回以降は大佐和地区、天羽地区についてそれぞれグループ討議を行っていただきたいと思えます。</p> <p>市の考えとしてお示した「たたき台」をご覧いただき、「たたき台ではこう示されているけど、こうした方がよいのではないか」、「こう示されているけど、これはどういうことだろう、どうしてだろう」というようなお考えや疑問点などを出し合っていただければと思います。</p> <p>このグループ討議では、多くの意見を出し合っていただくことが目的ですので、グループで結論を出していただく必要はありません。ざっくばらんに話しあっていただき、一つでも多く意見を出し合っていただきたいと思っております。</p> <p>グループ討議終了後、それぞれのグループで出た意見等を</p>

発言者	発言内容
	<p>会議全体で共有するために、議論した内容をグループ毎に報告していただきますので、あらかじめグループ内で報告者を決めていただきますようお願いいたします。</p> <p>各グループ討議で出た意見や質疑を取りまとめるためのワークシートをお配りしております。</p> <p>報告者は、討議終了後、報告しやすいようにこのワークシートに討議で出た意見等を記入してください。</p> <p>このワークシートは、本日の会議終了後、事務局へ提出をいただくようお願いしたいと思います。</p> <p>本日のグループ討議で出されましたご意見、ご質疑等につきましては、皆様からご提出いただく意見書とともに事務局で取りまとめ、次回の会議で市の考えとともに報告させていただきます。</p> <p>本日、感染症対策といたしまして、皆様の御席の前にアクリル板を設置させていただいております。討議中、声が聞きとりづらいということがあるかと思いますが、ご理解、ご協力をいただきたいと思います。以上で説明を終わります。</p>
諸岡会長	事務局の説明が終わりました。討議の前に確認しておきたいことなどありましたらお願いします。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、グループでの討議に移りますので、活発な議論をお願いいたします。</p> <p>(会長、副会長は討議グループの席へ移動)</p>

発言者	発言内容
事務局：荒木主任 主事	<p>事務局よりご連絡いたします。</p> <p>グループ討議の時間をおおよそ1時間予定したいと思います。壁掛けの時計で3時になりましたら声をかけさせていただきますので、それまでの間、グループ討議をよろしく願いいたします。</p> <p>なお、討議の途中で、疑問や確認したいことが生じた場合は事務局にお尋ねください。それでは開始してください。</p> <p>(グループごとに討議)</p> <p>(1時間経過後)</p>
事務局：荒木主任 主事	<p>グループ討議の方、いかがでしょうか。活発な議論がいただけたのではないかと思います。ちょうど1時間経過しましたので、ここで会議を一時中断し、10分ほど休憩をとりたいと思います。3時10分から開始したいと思いますので、それまでに御席にお戻りくださいますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>(10分間休憩)</p>
諸岡会長	<p>皆さんお揃いのおようですので、休憩前に引き続き会議を再開いたします。先ほど討議していただいた内容をグループごとに報告していただきます。</p> <p>それでは、Aグループから報告をお願いします。</p>
(Aグループ代表) 古川委員	<p>Aグループの古川でございます。</p> <p>今回、示されたたたき台について、3歳児未満の受入れと多様化するニーズに対応することを目的とした再配置計画であったという大前提を共通認識として議論いたしました。そ</p>

発言者	発言内容
<p>諸岡会長</p>	<p>れを踏まえての意見交換でございます。</p> <p>小規模保育所を誘致するということでありましたけれども、誘致する場所等の具体案はあるのか。すでに現存している既存の施設を利用するのか、あるいは新設するのか等の質問がございました。</p> <p>それから、前回の資料にも書いてありましたけれども、多様化するニーズになぜ対応するのかということでは、公立保育所では現状において応えきれない保育所ニーズへの強化を目的としている。そういった文言があったと記憶してございます。これを踏まえまして、再配置計画の中で飯野保育所、富津保育園、青堀保育園のそれぞれの所・園の特色、独自の保育目標や保育方針を立てて、それをもって保育所の多様化するニーズ対応とするのか。その辺はどのように考えてらっしゃるのか。つまり、多様化するニーズ対応の中身について、市はどのように考えてらっしゃるのか。後ほどご回答いただければなど考えております。</p> <p>それから、再配置や誘致のほかに、私自身、富津市の状況は深く存じ上げないですけれども、例えば、都市部ですと、事業所企業内の保育所というものがございます。託児施設ですね。その現状がどうなっているのか。もし、そういうものがあるのならば、そことの連携はどう考えてらっしゃるのか。こういうこともお伺いしたいと思います。</p> <p>最後に、保育士の確保について、これは前回会議の青堀保育園のときも議論されましたけれども、なかなか保育士の確保が難しいということで、潜在保育士ですね。有資格者の発掘を併せて行っていく必要があるのではないかという意見もございました。以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。Aグループからの討議の結果が</p>

発言者	発言内容
各委員	<p>報告されました。報告に対する質疑等がありましたらよろしくお願いたします。</p> <p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、続きましてBグループの報告者の方、よろしくお願いたします。</p>
(Bグループ代表) 大畑委員	<p>Bグループの討議内容について、報告させていただきます。</p> <p>富津地区として大きく2点。1点目は、飯野保育所が保育園になるということ。もう1点は、未移行幼稚園が認定こども園になるというたたき台を基に、各委員からご意見をいただいた次第です。</p> <p>幼稚園に関連する子どものことも言わせていただきますがご了承ください。</p> <p>たたき台にあるように、子どもの減少から様々な変更をしていくことは仕方ない部分はある。この先、どうなるかっていう不安が地域の保護者としては当然あるのだけれども、現状では、例えば保育所に在籍するお友達が少ないとなかなか問題があるので、たたき台のように変えていくというのはひとつありなのではないか。そこでせめぎ合いになるのは、妥当な人数での集団で保育をするということと、でも、おうちの近くにあった方が便利だという点のバランスのとり方も難しい点があるね、という意見がありました。</p> <p>飯野保育所についても、認定こども園についても、当然受け手がいなければかなわないというところがございますけれども、たたき台のようになった場合に問題になってくるのは、特に保育所が保育園になったときに、移行日に在籍している</p>

発言者	発言内容
<p data-bbox="215 1751 347 1787">諸岡会長</p> <p data-bbox="215 2002 316 2038">各委員</p>	<p data-bbox="512 264 1409 421">子どもたちが年中から年長になったときには大きく変わるの は大変なので、その辺をご検討いただければというふうに思 います。</p> <p data-bbox="512 452 1409 855">このあとの討議になるのでしょうか、大佐和地区、天 羽地区とは当然違う点があつて、富津地区については、まだ 子供の減少傾向がそんな急激ではない。あと、未満児へのニ ーズが増えているのではないか。そのあたりのニーズが保護 者であつたり、子どもたちの満足につながっていくとは思 いますので、その部分を勘案しながらいかなければいけないの ではないかというふうには思います。</p> <p data-bbox="512 887 1409 1227">先ほどの受け手という問題の前に相手方というところで、 飯野保育所や未移行幼稚園への打診はあるか？という質問が あつたので、討議の途中で事務局に確認したところ、意向は 伺っているということ为先ほど確認ができ、グループ内でも そういうことですかというところでは思っているところで す。</p> <p data-bbox="512 1258 1409 1662">最後になりますが、Aグループと同様に、保育士の確保と いう部分で、職場環境の改善であつたりという部分がなかな か難しい。富津市においては、若手の保育士さんを育てると いう点において、一生懸命やられているのをグループ内の討 議で出ましたので、今後も保育士さんを育てると同様に、 職場環境を改善していくことも大事なのではないかなという 意見が出されました。以上でございます。</p> <p data-bbox="512 1751 1409 1908">ありがとうございました。Bグループからの討議の結果が 報告されました。報告に対するご質問等はございますでし ょうか。</p> <p data-bbox="534 2002 726 2038">(質疑等なし)</p>

発言者	発言内容
<p>諸岡会長</p> <p>(Cグループ代表)</p> <p>都倉委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、Cグループの報告者の方、お願いします。</p> <p>Cグループ、クラブフレンズきんこく塾の都倉でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>Cグループでは、富津市の今回決めましたたたき台に対しまして、基本的にこの案でいいのではないかということの中で、実際に計画通りに移行される可能性もあるわけですが、保育士の確保というのが常につきまとうのではないかという話がありました。</p> <p>小規模保育園の設置場所は連携の取りやすい場、あるいは利用しやすい場にしていただきたいという意見がありました。</p> <p>小規模保育園を公募しても民間の事業参加者が現れなかった場合は公立で設置するのでしょうかという意見もございました。</p> <p>青堀保育園については、民間の施設でございますけれども、2年後にまた公募という説明がございました。飯野保育所が民間に移行する計画がある中で、2つを同時に公募したらよいのではないかという意見がございました。状況が違うわけではありますけれども、考え方としてできないかという意見がございました。</p> <p>小規模保育施設につきまして、イオンの空き場所を小規模保育園として利用はできないのでしょうかという意見もございました。</p> <p>質問事項といたしましては、明澄幼稚園が移行しないなんらかの理由があるのでしょうか？という質問を事務局にお尋ねいたしました。先ほどのBグループと重なりますけれども、</p>

発言者	発言内容
	移行する考えはおありのようで、時期等については出ていないというような回答をいただきました。以上となります。
諸岡会長	ありがとうございました。
	Cグループから討議の結果が報告されました。報告に対する質疑等はございますでしょうか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	質疑がなければこれより全体会議とします。今までの報告やその他なにか質疑等がありましたら、挙手していただければと思います。
都倉委員	事務局に伺います。小規模保育園の場所について、まだ正確な場所は決まってないと思うのですが、おおよその計画的なところで考えがあるのかどうかお尋ねします。
事務局：中山課長	ご質問ありがとうございます。 小規模保育所につきましては、やはりニーズが多いところ、小さいお子さんを見るということを考えて合わせると、利便性の良いところに、ということはお考えしております。具体的なことはこれからということでお予定しております。以上です。よろしいでしょうか。
都倉委員	はい、ありがとうございます。
諸岡会長	他になにかございますか。
各委員	(質疑等なし)

発言者	発言内容
事務局：中山課長	<p>活発な討議、貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本日、討議の結果や出されました意見・質問は、先ほどもご案内いたしましたが、事前にお配りいたしました意見書、こちらを提出していただいたものと合わせまして、次回の会議に市の考え方や回答等をあわせてお答えしたいと思います。ありがとうございました。</p>
諸岡会長	<p>他になにかございますか。なければ、議題（２）を終了させていただきます。</p> <p>それでは、「議題（３）その他」に入ります。委員の皆様からなにかありますでしょうか。</p> <p>本日、これまでの内容で確認したいことなどがありましたら、挙手いただければと思います。</p>
各委員	<p>（質疑等なし）</p>
諸岡会長	<p>ないようでしたら、事務局からその他として何かありましたらお願いします。</p>
事務局：水島係長	<p>それでは、令和３年度の子ども・子育て会議のおおよその開催予定について、お知らせをさせていただきます。</p> <p>令和３年度は、おおむね５回程度の会議を予定しております。</p> <p>公立保育所再配置計画策定に向けて、本日と同様に３つのグループに分かれて大佐和地区、天羽地区について討議を行っていただきます。</p> <p>その後、パブリックコメントを実施し、令和４年３月頃には、計画としてまとめてまいりたいと考えております。</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>各回の開催日等が決まりましたら、郵送にてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、事前に配付させていただいた公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書は、会議終了後にご提出をお願いいたします。</p> <p>なお、会議終了後も随時ご意見をお寄せいただきたいと考えております。本日改めて皆様のお手元に意見書の用紙をお配りいたしましたので、そちらをお使いいただき、ご意見をお寄せいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p><次第5 閉会></p> <p>以上をもちまして、第3回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりありがとうございました。</p>